

私立大学図書館協会2009年度東地区部会総会 議事要録

日 時:2009年6月12日(金) 10:00~11:50

会 場:獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂

開会の辞	司会者(会場校)	獨協大学図書館	羽田 洋一
開会の挨拶	部会長校	青山学院大学図書館長	山本 吉宣
挨拶	会長校	関西大学図書館長	市川 訓敏
挨拶	会場校	獨協大学学長	梶山 皓
議長選出	司会者(会場校)	獨協大学図書館	羽田 洋一
開会宣言	議長	玉川大学図書館	武林 輝暁

開会の辞、挨拶に続き議長の選出が行われ、議長が開会を宣言した。

議長より部会総会に先立ち、出席校が会則(私立大学図書館協会会則第24条)の定足数に達し部会総会が成立した旨の報告があり、議事進行に入った。

<部会成立状況>(6月12日 10:00時点)

加盟校数 :255校

(部会成立に必要な校数は255校の過半数=128校以上)

出席校 : 91校

委任状提出校 :159校

合計 :250校

引き続き、新規加盟申請のあった下記4校の紹介がなされ、拍手で了承された。

なお、加盟申請4校については、8月に佛教大学で開催される私立大学図書館協会総会にて承認された後、正式加盟になる旨の報告があった。

植草学園大学(2009年1月23日申請) 出席

こども教育宝仙大学(2009年5月1日申請) 出席

日本赤十字秋田看護大学(2009年5月25日申請) 欠席

浜松学院大学(2009年5月29日申請) 欠席

議 事

I 報告事項:

議長より、全ての報告事項の報告の後、纏めて質疑応答に入りたい旨の発言があり、了承された。

1. 2008年度 東地区部会会務報告及び研究部活動報告

部会長校青山学院大学(添田)より資料(p.5-8)に基づき、2008年度東地区部会会務報告があった。引き続き、研究部担当理事校東京理科大学(宮川)より、資料(p.9-11)に基づき、研究部活動について報告があった。

2. 2008年度 協会関連報告

部会長校青山学院大学(添田)より、資料(p.12-23)に基づき、協会会務報告、委員会報告として協会賞審査委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会、協会ホームページ委員会の報告があった。引き続き、資料(p.24-26)に基づき、2008年度協会関連報告として国公私立大学図書館協力委員会関連、日本図書館協会関連、その他後援・共催事項についても併せて報告された。

3. 2009年度協会委員会及び協会関連団体等委員

部会長校青山学院大学(添田)より、資料(p.27-29)に基づき、2009年度役員校および委員会について報告があった。

4. 私立大学図書館協会組織図

部会長校青山学院大学(添田)より資料(p.30)に基づき、私立大学図書館協会組織図について報告があった。

<質疑応答>

質問:なし

議長:質問事項がなければ、拍手をもってご了承をお願いしたい。

以上、報告事項について、拍手で了承された。

II 協議事項:

議長より、協議事項については2008年度決算報告関係と2009年度事業計画・予算関係とに分けて協議していきたい旨の発言があり、了承された。

1. 2008年度東地区部会決算報告及び監査結果

部会長校青山学院大学(添田)より、資料(p.33)に基づき、2008年度東地区部会決算報告の説明があった。

2. 2008年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果

研究部担当理事校東京理科大学(宮川)より、資料(p.34)に基づき、2008年度東地区部会研究部の決算報告の説明があった。

1. 2. を受けて、監事校駒澤大学(雨宮)より、東地区部会決算および東地区部会研究部決算について監査の結果、両決算ともに適正に執行されているとの監査結果が報告された。

<質疑応答>

質問:研究部決算報告書における収入の部(p.34)においては、前年度繰越金約300万円、研修会および研究会参加費合計が約100万円徴収とされているが、繰越金は今後積み立ててゆく方向なのか。

回答:繰越金については、増やす目的ではなく過年度の流れて運用されており、今後の新規事業である研修分科会などを継続し運営してゆく経費として、数年後には足りなくなる予定である。

質問:通常交付金より繰越金が多い状況にあり、いささかおかしいのではないかと。これだけ繰越金があるにもかかわらず、参加費を合わせて約100万円徴収するには、その根拠は希薄ではないかと。

回答:研修会・研究会の参加費については、参加状況を考慮し、受益者負担という点から無料ではなく参加費を徴収している。

議長:この件については、次の予算と関連する事項でもあり、再度まとめて協議することとする。

質問:東地区部会決算報告書(p.34)の印刷費の支出が0円となっている点については、実際パンフレットの作成など行っており、0円ということはないのではないかと。

回答:印刷費の支出が0円であるのは、東地区部会の部会長校の任期は2年間となっており、主に封筒関係の印刷費用に当てるため、1年目に必要部数を印刷し2年目はほとんど印刷しなかったことによる。

質問:1年目にすべて印刷してしまうのであれば、本来予算に計上しないのが正しいのではないか。また予備費の290万円については、予算立てする以上、その使用明細も明らかにされるべきではないか。さらに、研究部決算報告書に明記されている次年度繰越金についてであるが、研究部予算は東地区部会予算より交付されたものであり、次年度部会繰越金と合算し、東地区部会全体の繰越金として、東地区部会決算報告書に明示すべきではないか。

回答:過年度より東地区部会および研究部会は、各決算報告書にて報告しており、問題ないと考える。

質問:この繰越金は、本来東地区部会より交付されているものであり、部会予算に戻すべきという意見を述べさせていただいた。また次期繰越金については、簡単な明細を表に付記すれば、正しい監査報告の姿になるのではないか。以上については、単純に意見をのべさせていただいたままで、回答を求めるものではない。

議長:ご意見については、今後、役員会にて検討させていただきたい。

その他質問がなければ、拍手をもってご了承をお願いしたい。拍手の了承については、出席校の3分の2以上の賛成があったものとする。

以上、報告事項について、拍手で了承された。

引き続き議長より、2009年度事業計画案・予算案について協議を行う旨説明があった。

3. 2009年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)

部会長校青山学院大学(添田)より、資料(p.35-36)に基づき、2009年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について説明があった。

4. 2009年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)

研究部担当理事校東京理科大学(宮川)より、資料(p.37-38)に基づき、2008年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について説明があった。

<質疑応答>

質問:本来事業計画の裏づけが数値予算として計上されるべきところ、前年度実績を踏まえて

予算が組まれており、予備費の実態が無いように思われる。研究部予算案の分科会助成金についての具体的積算根拠はどのようになっているのか。

回答:分科会助成金については、各分科会代表者からの予算申請に基づき、規定の定額を超えない範囲で支出している。

質問:株主総会を例に考えるならば、これだけ繰越金があれば株主に配当されるべきではないか。今後については、一度お考えいただく事項ではないか。

議長:今後の活動計画に活かすということで、ご意見を吸い上げていただきたい。

その他質問がなければ、拍手をもってご了承をお願いしたい。

以上、協議事項3. 4. 5. 6. について、拍手で採択された。

Ⅲ 承合事項

提出なし

Ⅳ 懇談事項

提出なし

Ⅴ その他

なし

以上、全ての議事が終了し、議長が閉会を宣言した。

以 上